

令和7年度 活動報告

4月～5月 埋立地の圃場化



目的: 果樹苗の新植

面積: 1 ha

問題点:

土壌が痩せていて作物が育ちにくい状況であること。地盤が固く根が張りづらい環境であること。

対策:

多めの牛糞堆肥の施用を行い、雑草による深耕を理由になるべく除草せず適宜様子を見て除草作業を行っている。

結果:

灌水時に浸透性の向上につながった。

6月～7月 耕作放棄地の整地



目的:果樹苗の新植

面積:20R

問題点:

乾木状態であるため固く、伐採に時間を要した。
近隣に住居があり伐採した樹木の処理に時間
と費用を要した。

対策:

伐採した樹木を細かくし、重機を利用し四隅に
埋めた。整地について雨天時での重機の使用
でり段差ができてしまった為、今後も重機による
作業を検討している。



結果:

耕作放棄地の整地について次年度に持ち越す
予定だったが、今年度までに新植を終える予定
だ。

8月～9月 幼木苗木の管理及びぶどう棚の建設



目的:収益性の向上

面積:1OR

今後:令和7年度 8月下旬～11月中旬

簡易雨よけトンネル栽培に向けて葡萄棚の設置及びシャインマスカットの新植を行う。

補足)単管パイプなどの1部資材及び苗木については発注済み

課題:

大幅に圃場面積を拡大した為省力化を検討。

対策:

省力化に伴い防草シートで被覆や遠隔操作可能な草刈り機の導入を検討。

11月～12月 商品企画及び開発の検討

目的:6次産業化により商材を増やす。

現状の問題点:

繁忙期と重なり商品企画・開発に人員が割けられないこと。

対策:

搾汁や搾油といった1次加工を行った後、2次加工を他社へ委託する。

結果:

営業許可ないし営業届が不要のため手続きを省くことができる。

今後:

委託先の企業との日程調整を行う。令和8年度末を目途に販売予定。